

報道関係各位

2026 年 8 月 19 日

クイズ感覚で知識が深まり、予防を身近にするきっかけに 現役学生が提言する、「解いて学んで、伝えたい」子宮頸がん予防検定の力

● 「新設、子宮頸がん予防検定」記者発表会のご案内

2005 年に医療者と共に設立され日本で一番歴史のある啓発団体、特定非営利活動法人子宮頸がんを考える市民の会は年間約 3000 人が命を落とし約 10000 人が罹患する、子宮頸がんの予防と検診の重要性を広く周知するため記者発表会を開催いたします。本会では、本年の子宮の日（4 月 9 日）から新設された 365 日 24 時間誰でも簡単に無料でスマホでも受験できる子宮頸がん予防検定（通称、ティールブルーリボンアドバイザー検定）初級の受験者 1,500 人の属性や誤解されている「知識の空白」を発表するとともに検定にしたことの意義を説明します。

また、初級検定を受けた高校生、大学生からの当事者目線の感想と同世代や社会に向けた提言を行います。

つきましては、報道関係の皆様におかれましても、本記者会見へのご参加を賜りますようお願い申し上げます。

● 記者発表会概要

日 時：2026 年 8 月 24 日（月）16:30～17:30（プレゼン約 45 分・質疑応答約 15 分）

場 所：厚生労働省記者室

主 催：特定非営利活動法人子宮頸がんを考える市民の会、

● プログラム（予定）

1. 開会の挨拶（特定非営利活動法人子宮頸がんを考える市民の会）
2. 子宮頸がんを考える市民の会、活動紹介
3. 子宮頸がんの基本と変わりゆく予防対策
 - ・子宮頸がん予防の重要性（HPV ワクチン男性接種、HPV 検診）
4. 子宮頸がん検定について
 - ・検定の目的、問題作成と監修者、後援団体の紹介
 - ・初級受験者 1,500 人背景（男女比、年齢、職業）
 - ・受験対象者別の正答率から分かったこと
5. 受験してみた当事者たちの感想と提言
 - ・高校生ボランティア 萩原優衣さん（高校 3 年生）
 - ・大学生インターン 渡邊歩さん（大学 3 年生）
6. 今後の展開（中級試験開始）と課題
7. 質疑応答
8. 閉会のあいさつ

● 参加方法・お問い合わせ先

誠に恐れ入りますが、加盟社以外の方は厚生労働記者会（03-3595-2570）の幹事社（共同通信）まで参加希望の旨をご連絡いただきますようお願い申し上げます。

この件に関する問合せ先：080-1213-9537 watanabe@orangeclover.org 担当ワタナベ

Press Release

特定非営利活動法人子宮頸がんを考える市民の会について

<https://love49.org/>

弊会は 2005 年より活動続ける予防出来る「子宮頸がん」の予防・啓発団体（理事長、今野良 自治医科大学名誉教授）です。子宮頸がんは HPV ワクチンと精度の高い HPV 検診で征圧が可能ながんであることを、全国民に知って頂くよう活動を続けております。4 月 9 日を「子宮頸がんを予防する日（子宮の日）」として全国の細胞検査士を始めとする 1500 名を越えるボランティアと共に約 60,000 部の予防啓発小冊子などを配布しています。また、国内の自治体検診や職域の検診の状況などを経年的に調査をし専門家と共に改善点を提言しています。

子宮頸がん予防検定について

<https://love49.org/teal-ribbon>



本検定は、2026 年 4 月 9 日（子宮の日）から新設された検定です。科学的根拠に基づいた子宮頸がんの正しい予防知識を普及し、家庭や職場、地域で受診勧奨や情報発信ができる人材（アドバイザー）の育成を目的としています。WHO が掲げる子宮頸がん征圧戦略のイメージカラー「ティールブルー」に準じて実施され、産婦人科専門医などの専門家が問題を監修しています。

【特徴・構成】

- **オンライン受験**：誰でも受けて学べる仕組みで、初級（無料）、中級、上級の 3 段階で構成。
- **合格特典**：デジタル認定書やオリジナルバッジが発行され、名刺への記載や社内資格、啓発活動の信頼の証として活用可能。
- **対象者**：一般市民から医療従事者、健診スタッフ、学生まで幅広く推奨されています。

開始から 4 ヶ月で初級検定は約 1500 人が受験しました。



「知っている」を「できる」に変える。

子宮頸がん予防検定（ティールブルーリボンアドバイザー検定）

2026年6月30日中級検定申込開始

8月30日（日）～9月13日（日）WEB検定試験実施